

帰国後の「気になること」を4つのQ&Aで徹底解消！

子どもも外国語力保持の仕方&磨き方

子どもの「外国語力保持と磨き方」について、私立中学・高等学校の英語教師であり、『海外子女教育振興財団』が主催する『外国語保持教室』の講師でもあるChris Beyfus氏にお話を伺いました。

Q 外国語力、衰えやすい年齢や環境ってあるの？



A 年齢と環境、いずれも重要なファクターですが、より大きく影響するのが環境です。帰国後の子どもたちに最適な環境を与えられるのは、子どもがその言語を習得した環境を知る保護者。努力は惜しまないでください。

また、日本では多くの子どもたちが小四〜六年生にかけて塾に通います。日本語で日本の勉強をさせることはもちろん重要ですが、外国語力を持つことが、将来をどれほど豊かにするかも考え、保持&伸長させる工夫もしてください。



Q 英語以外の外国語の場合キープ&アップは難しい？



A 英語以外の言語については詳しくはわかりませんが、語学力の保持・伸長に関しては、英語もそのほかの言語も基本的に差はないと想像します。保持・伸長のために大切なのは、力を眠らせないこと。いずれの言語も、身近なメディアや人を通じて触れる機会があるなら、保持・伸長できる可能性が高くなります。ただ、英語は日本でも映画、テレビ、新聞、本や看板など、どこでも簡単に目にするのができます。そのぶん、ほかの言語に比べ、英語の保持・伸長が有利なように感じられるかもしれません。



保護者の環境作りが「保持」「伸長」度を左右
言葉は生活の一部であり、「学習」するものであってはいけません。子どもも外国語力を保持・伸長させるには、その言葉を常に使っているような環境が必要で、そして保護者が必要とする環境をつくってあげることが何よりも大切なことです。学校での週数回の授業に頼るのではなく、子どもの日常生活の中に、外国語に触れ、外国語に親しめる環境をつくってあげてください。

海外での生活では、保護者は子どもが日本語を忘れないよう、あらゆる努力をします。日本語で話しかけ、本を読ませ、日本語の宿題と一緒に解いたり、たくさん日本語について教えたのではないのでしょうか。帰国後は、それと同じことを外国語でしてください。保護者の環境づくりへの努力が、子どもたちが外国語力を保持し、伸ばせるか否かの鍵を握っているのです。

Q キープ&アップに効果的な読み方、聞き方、言語との関わり方は？



A ポイントは「毎日」。週に一回一時間まとめてよりも、毎日二十分のほうが有効です。その言語の本を読む、もしくはDVDなどを見る(聞く)、見て感想を言い合うことなどを習慣にするのは大前提。そして重要なのは、やはり保護者の努力。ただ単に子どもに教材を与えるだけでは不十分です。低年齢のお子さんなら一緒に読む、見る。内容を聞く、わからない単語が出てきたら一緒に調べ、お子さんのためにできるだけ多くの時間を作るよう、常に努力しましょう。



Q 子どもの外国語力キープ&アップモチベーションの高め方は？



A 大切なのは、外国語力を維持・伸長させる動機を持たせること。最もやる気を見せるのは、海外にいる友人と頻りに連絡を取り合っている、または海外に住む友人が訪ねてくる予定のある子どもです。



また、家族の強い働きかけによって学校などで日常的に外国語を使う環境にいられる子どもも同様です。日常生活の中で、子どもが「外国語力がある」と思える理由を、子どもと一緒に見つける努力をしてみてください。

お話を伺った方

クリス ベイファス
Chris Beyfus 氏



イギリス出身。私立中学校・高等学校(千葉県)の英語教師。1996年より『海外子女教育振興財団』の『外国語保持教室』講師を務め、現在はHeadTeacherとしてカリキュラム作成、講師指導および、愛宕でのクラスも担当している。

帰国後に家庭でできる保持&磨きの5習慣

保持 友だちと連絡を取る

帰国後は、なるべく早い段階で海外でできた友だちと連絡を取り合うよう勤めましょう。子どもにとっての「外国語力を保持・伸長させる動機」になります。メールやソーシャルネットワークサイトなど、手軽に安く海外とやり取りする方法とともに、ネットの安全な使用方法も教えましょう。

保持 家族同士で英語(外国語)を使う

子どもの外国語力保持・伸長において、家族の協力は必要不可欠です。家族間での日常使いはもちろん、特別な日にゲーム性を持って使うのも有効です。テーマパークに行く、家族でスポーツをするなどのイベントを設け、たとえばその日は英語でしか話さない「イングリッシュ・デー」に。間違えた人にはペナルティもあり！

保持 ネットで海外の情報を収集

いま、最も外国語に触れやすいメディアといえるインターネット。もの数秒で外国語の世界に入れます。海外在住時に好きだったテレビやタレントなどの情報や、日々のニュースを外国語で読む習慣をつけさせましょう。それほどの長文はないので、抵抗なく読めるはず。ただし、子どもにとって適切なページかの確認を忘れずに！

磨く 英語(外国語)の本を読む

これまで指導してきた経験からいって、本を読むのが好きな子どもは、外国語力を保持・伸長しやすいようです。本を読む楽しさが、保持・伸長の動機になっているからです。本を読めば読むほど、それによってライティング力も増します。一緒に書店に行き、子どもが興味を示したものを読ませるようにしましょう。

磨く 英語(外国語)の文章を書く

英語(外国語)の文章を書くことも大切です。文章(海外に住む友だちへのEメールや日記、どこかに行ったあとの感想文など)を書く機会を与えてください。特に年齢の小さい子どもについては、子どもの文章を読み、明らかな間違いについては訂正してください。子どもの年齢に合った英英辞典があるとよいでしょう。